


「第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画」素案からの変更点

計画（素案）				計画（案）				変更の理由																									
<p>・なお、本計画は「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に資するものです。</p> <p>※持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）2015年9月に国連で採択された、先進国を含む2030年までの国際社会全体の開発目標。17のゴール（目標）とその下位目標である169のターゲットから構成</p>				<p>（1頁 2 計画の位置づけ 9行目～17行目）</p> <p>・道では、2018（平成30）年12月、SDGsのゴール等に照らした、本道の直面する課題、独自の価値や強みを踏まえた「めざす姿」などを示した「北海道SDGs推進ビジョン」を策定し、当該ビジョンに沿って、多様な主体と連携・協働しながら、北海道全体でSDGsの推進を図ることとしています。</p> <p>本計画は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の主に以下のゴール（ターゲット）の達成に資するものです。</p> <p>・ゴール1（ターゲット1.2、1.3）</p> <p>・ゴール3（ターゲット3.4、3.d）</p> <p>・ゴール4（ターゲット4.5）</p>																													
<p>・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。</p>				<p>（13頁 （3）現状認識 12行目～13行目）</p> <p>・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう、いわゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾病及び関連保健問題の国際統計分類（ICD-11）」に「ゲーム障害」が加わりました。</p>				パブリックコメントの意見を踏まえ、文言を修正。																									
<table><tr><th>指 標</th><th>R2.3月計画策定時</th><th>現状</th><th>目 標</th></tr><tr><td>①連携会議の設置数</td><td>札幌圏：1か所</td><td>札幌圏（2か所）、室蘭、南渡島、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年10月時点</td><td>第2次医療圏に1か所</td></tr><tr><td>②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）</td><td>医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点</td><td>医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点</td><td>研修会受講機関及び受講者数の増</td></tr></table>				指 標	R2.3月計画策定時	現状	目 標	①連携会議の設置数	札幌圏：1か所	札幌圏（2か所）、室蘭、南渡島、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年10月時点	第2次医療圏に1か所	②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）	医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点	医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点	研修会受講機関及び受講者数の増	<p>（18頁 重点目標3 ①連携会議の設置数 現状）</p> <table><tr><th>指 標</th><th>R2.3月計画策定時</th><th>現状</th><th>目 標</th></tr><tr><td>①連携会議の設置数</td><td>札幌圏：1か所</td><td>札幌圏（2か所）、西胆振、南渡島、南檜山、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年12月時点</td><td>第2次医療圏に1か所</td></tr><tr><td>②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）</td><td>医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点</td><td>医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点</td><td>研修会受講機関及び受講者数の増</td></tr></table>				指 標	R2.3月計画策定時	現状	目 標	①連携会議の設置数	札幌圏：1か所	札幌圏（2か所）、西胆振、南渡島、南檜山、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年12月時点	第2次医療圏に1か所	②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）	医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点	医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点	研修会受講機関及び受講者数の増	現状の室蘭を二次医療圏名の西胆振に修正 南檜山を追加 把握時点を修正	
指 標	R2.3月計画策定時	現状	目 標																														
①連携会議の設置数	札幌圏：1か所	札幌圏（2か所）、室蘭、南渡島、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年10月時点	第2次医療圏に1か所																														
②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）	医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点	医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点	研修会受講機関及び受講者数の増																														
指 標	R2.3月計画策定時	現状	目 標																														
①連携会議の設置数	札幌圏：1か所	札幌圏（2か所）、西胆振、南渡島、南檜山、富良野、十勝、釧路、根室（2か所） ※R4年12月時点	第2次医療圏に1か所																														
②医療機関、相談機関の研修会受講機関及び受講者数（再掲）	医療機関：24か所 受講者数：83名 相談機関：40か所 受講者数：44名 ※H30年度時点	医療機関：49か所 受講者数：229名 *1 相談機関：59か所 受講者数：81名 *2 ※R3年度時点	研修会受講機関及び受講者数の増																														

<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>12月</u> 計画素案に対するパブリックコメントの実施 ～ <u>1月</u> ・ <u>1月</u> 第5回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議「対策推進部会」 ・ <u>1月</u> 第2回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議 	<p>(63 頁 10 第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画策定経過)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>12月2日</u> 計画素案に対するパブリックコメントの実施 ～ <u>1月3日</u> ・ <u>1月18日</u> 第5回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議「対策推進部会」 ・ <u>1月30日</u> 第2回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議 	<p>令和4年度の計画策定経過のパブリックコメントの実施以降の日程を記載</p>